

福澤諭吉の『皇室論』 -知られざる象徴天皇制への影響-



『皇室論』

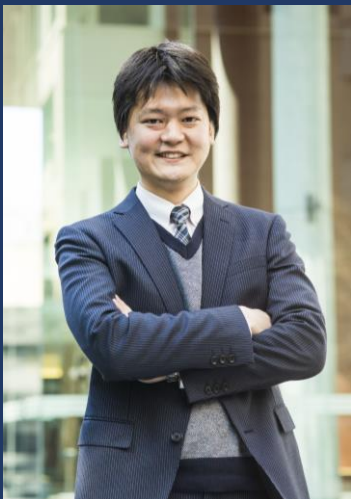
立憲帝政党の結成を契機として発表された福澤諭吉の天皇・皇室論。帝室に政治的中立性や社会的秩序維持機能、精神的統合機能を期待した。慶應義塾の元塾長であった小泉信三が明仁皇太子（現上皇）の教育掛を務めた際、本書を用いて講義を行った。近代日本における皇室のあり方、とりわけ象徴天皇制の先駆的主張として位置づけられている。

2019年

日時：**10月20日(日)** 14:00~15:30

会場：新中津市学校(殿町) ※申込不要

参加無料



とくら たけゆき
講師 都倉武之氏

慶應義塾福澤研究センター准教授

専門は近代日本政治史・政治思想史・メディア史。1979年生まれ。2007年慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程満期単位取得退学。武蔵野学院大学助手、専任講師を経て2007年慶應義塾福澤研究センター専任講師。2011年より現職。『近代日本と福澤諭吉』（共著、慶應義塾大学出版会、2013年）、『福澤諭吉の思想と近代化構想』（共著、慶應義塾大学出版会、2008年）ほか。皇室論関連では、2004年より小泉信三研究を開始し、『父小泉信三を語る』（共編、慶應義塾大学出版会、2008年）、『アルバム小泉信三』（共著、慶應義塾大学出版会、2009年）などがある。

福澤記念館企画展 同時期開催

福澤諭吉とスポーツ
～勉めて身体を運動すべし～
10月12日(土)~12月1日(日)
福澤諭吉旧居 福澤記念館

- 入館料 大人400円(300円) 小中学生200円(150円)
※ () 内は団体20名以上の料金
- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 主催 公益財団法人 福澤旧邸保存会
- 共催 中津市、中津市教育委員会
- 後援 慶應義塾